卒業時コンピテンシー・マイルストーン科目別達成レベルマトリックス

	M1												M2																																			M3								M4								M4～M6								M1～4
	必修												必修																																			必修								必修								必修								選択
	専門基礎科目	基礎科目共通科目							基礎科目関連科目	専門科目				基礎科目共通科目		専門科目																															専門科目								専門科目								専門科目（いずれかを選択）								自由科目
	生物・化学実験 物理学Ⅰ～Ⅱ 生物学Ⅰ～Ⅱ 化学Ⅰ～Ⅱ	総合科目Ⅰ（フレセミ）	総合科目Ⅱ	体育	第1外国語（英語）	情報処理	国語Ⅰ		医療・福祉現場でのふれあい等	医療概論Ⅰ（医療人間性教育）	医学統計学	医学の基礎	第1外国語（英語）	体育	機能・構造と病態Ⅰ		医療・福祉現場でのふれあい等	医療概論Ⅱ						（専門科目（編入生対象））	機能・構造と病態Ⅱ	医療概論Ⅲ					クリニカルシップⅠ					医療概論Ⅳ				クリニカルシップⅡ				医療概論Ⅴ	クリニカルシップⅢ	クリニカルシップⅢ	クリニカルシップⅡ（新医学専攻対象）	医学総括	研究室演習Ⅰ 研究室演習Ⅱ 研究室演習Ⅲ
												基礎医学コース			基礎医学コース	臨床医学コース	診療所	在宅ケア	行動科学	プロフェッショナリズム	職種間連携教育	Medical English Terminology			臨床医学コース	社会医学コース	行動科学	ヘルスプロモーション	ケアコロキウム	Medical English Terminology	小括講義	症候・病態からのアプローチ	診察法演習	PreCC	社会医学実習	医療安全	臨床倫理	コミュニケーション	アドヴァンストコース	CC Phase Ⅰ（必修診療科後半）	CC Phase Ⅱ（必修選択診療科）	CC Phase Ⅱ（選択CC）	地域医療	自由選択実習	海外実習	研究室実習		
プロフェッショナリズム																																																																			
1.　社会規範を遵守するとともに、医師の責務と法的な理解に基づき、研究倫理・医療倫理の原則に基づいて行動できる。		①				1			①	①		1			1	①	①	1	1	①	1			①	①	1	1	1				1	③	③	③	③	③		③	③	③	③	③	③	3	3	3
2.　豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示し、常に患者中心の立場に立って考え、利他的、共感的、誠実に対応できる。		1					1		①	①		1			1	①	①	①	1	①	①			①	①	1	①	①				①	③	3	③	③	③		③	③	③	③	③	③	3	3	
3.　社会全体のニーズとその変化に目を向け、医療資源の公正な分配と、医療の質の向上に努めることができる。									①	①		1			1	①	①	①	1	①	①			①	①	1	1	1					3	③	③	③	③		③	③	③	③	③	③	3	3	3
4.　自らを振り返り、自身の心身のコンディションをコントロールし、意欲を持って自己の向上を図ることができる。		1		1					1	①		①		1	①	①	①	①	①	①	①			①	①	②	2	2					③	2	③	③	③		③	③	③	③	③	③	3	3	2
科学的思考																																																																			
1. 常に好奇心や探究心をもって事象をとらえ、科学的思考に基づいて解釈できる。	1								1			①			③	③	1							③	③					3	3			3	3			③	③	③	③	③	③	③	③	3	③
2. 研究の枠組みを理解し、課題を解決するための方法論を説明できる。	1					1				2	1	①			②	②								②	②					3				3				3	③	③	③	③	③	③	④	3	③
3. 医学の知識を病態や症候、治療と関連付けて理解し、問題解決に取り組むことができる。												①			3	③			3					③	3	3	3			3	3	3	3	3	3			3	③	③	③	③	③	③	④	3	③
コミュニケーション																																																																			
1.患者およびその家族を全人的に理解し、様々な背景をもつ患者に共感、敬意、思いやりをもって接し、適切なコミュニケーションをとることができる。		①							①	①		1	2		1	2	②	②	2		②			2	1	2	②	②				②	③	3	③	③	②		③	③	③	③	③	③			
2.保健・医療・福祉など様々な場においてチームメンバーを尊重して適切にコミュニケーションをとり、多職種と効果的に連携できる。		①							①	①		1			1	1	②	②	1	2	②			1	1	1	②	②			1	1	③	3	③	③	3		③	③	③	③	③	③			2
診療の実践																																																																			
1.診療の基盤となる基礎医学、臨床医学、社会医学、行動科学などの医学知識を有し、問題解決に応用できる。												①			①	②		1	①		1			②	②	②	②	2		②	②	②	2	3	2	2	2		③	③	③	③	③	③		3	②
2.一般的な診療の場において、患者の主要な病歴を系統的に正確に聴取できる。													1			1								1							①	②	②				2		③	③	③	③	③	③			
3.患者の病態にあわせて適切に身体診察を実施し、所見の解釈ができる。																①		1						①						1	①	②	②						③	③	③	③	③	③			
4.基本的な臨床手技を安全に実施できる。																①								①						2	1		②		2				③	③	③	③	③	③			
5.臨床推論の考え方に基づき、収集した医学情報から鑑別診断を行い、検査計画を立案し、その結果を解釈できる。																①					1			①				2		2	②	②	2				2		③	③	③	③	③	③		3	
6.基本的な治療計画を立案できる。																①		1			1			②				2		2	②		2		2	2	2		③	③	③	③	③	③		3	
7.Problem Oriented Systemに基づく診療録を記載することができる。																①		1			1	1		①				1	1				②		2				③	③	③	③	③	③			
8.診療情報の共有のために、その場に応じたプレゼンテーションができる。													1			1		1						1									①						③	③	③	③	③	③			
9.Evidence-based medicine (EBM) の手法を活用して、臨床において生じた疑問について必要な情報を収集して吟味し、患者への適用を提案できる。											①	1			1	1						1		1					1	1			②	3	2	2			③	③	③	③	③	③		3	2
10.　医療安全の基本概念を理解した上で、患者および医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供する意識をもち、実践できる。																1								1				1		1		②	②	3	②		2		③	③	③	③	③	③		3	
医療の社会性																																																																			
1. 地域・集団の健康に関する問題を科学的に分析し、問題解決に取り組むことができる。									1	1	2	2			2	2	2	②	2	2	2			2	②	2	③	2		2				③	3			③	③	③	③	③	③	③		3	2
2. 保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職を理解したうえで活用し、医療経済を考慮した活動を実践できる。									①	1		1			1	2	1	②	2	2	2			2	②	2	2	2		2				③	3	3			③	③	③	③	③	③	③		3	2
3. 地域のニーズを把握し、地域の特性を活用して地域医療に貢献できる。									①	1						2	①	②	2	2	2			2	②	2	③	2		2				③					③	③	③	③	③	③	③		3	2
4. 予防の視点を持ち、個人・集団を対象とした予防活動を実践できる。																2	1	2	②					2	②	②	③			2				③					③	③	③	③	③	③	③		3	2
未来開拓力																																																																			
1. グローバルな課題に目を向け、多様性を受け入れつつ、国内外から広く情報を収集し英語で発信できる。		1	1		2	1	1	1	1	①		①	③		②	②	1	1	1	1	1	2		②	②	②	2	2	2				2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	④	4		②
2. 目の前の困難な課題に対し、創意工夫を凝らして粘り強く解決にあたることができる。										1		1			1	1		1	1	1	1			1	1	1	1	1			1	1	1	1	3	3	3	1	3	3	3	3	3	③	③		③
3. 自らの考えを明確化し、適切な方法で情報発信できる。					1		1			①		②			②	②		②	2		②			②	②	2	③	②			2		3	3	3	2	2		3	3	3	3	3	3	4		2
4. 場に応じて積極的に教育を実践するとともに、教育を通して自らの学びを深めることができる。										1		1			1	1		1	1	1	1			1	1	1	③	1											3	3	3	3	3				
5. チームメンバーと協働し、目標の達成に向けてリーダーシップを発揮できる。		1							1	①		①			①	①	1	①	1	1	①			①	①	1	③	③			1		3	3	3				3	3	3	3	3				1

○：該当するマイルストーンを中心的に取り扱うもの。